




熱中症が心配な時期となりました。急に暑くなったり肌寒くなったり、体が暑さに慣れていないこの時期は注意が必要です。水分補給や体調管理に気を付けながら、元気に過ごしていきましょう。




園では、発熱や下痢など、体調を崩すお子さんが増えています。感染性の事もありますので、下痢をしている時は早めに受診するようにしましょう。

便で衣服等を汚した場合、園では洗わずに家庭にお返しします。感染性であった場合の二次感染予防のためです。ご了承願います。

プール遊びが始まります！

梅雨が明けたら、子どもたちが大好きなプール遊びが始まります。元気に楽しく遊べるように、毎朝、ご家庭での健康チェックをお願いします。

- 熱は何度ですか？
37,5℃以上がプールに入れない目安です。
- 食欲はありますか？
- 目の充血や目やにはありませんか？
- 夜、よく眠れましたか？
- 咳・鼻水は出ていませんか？
- 下痢をしていませんか？
- 肌の状態は悪くないですか？
ただれや傷がありジクジクしている・発疹がある場合は、プールは避けた方が良いでしょう。




とびひの増える季節です

とびひは、虫刺されの跡や傷に、菌が付いて発症することが多く「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのがとびひの始まりのサインです。やがてかゆみの強い水ぼうがができます。これをかきこわした手でほかの所をかくと、そこにもとびひが広がります。



- 主な症状**
- 皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
 - 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
 - 強いかゆみがある

家庭での手当て

- じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってから、ガーゼで覆う
- お風呂では湯船につからず、シャワーで洗い流して清潔を保つ
- 湯上がりはこすらずふき取り、薬を塗る



他のお子さんにも感染する事もあります。必ず受診し、適切な治療を受けましょう。

